

平成22年5月14日

各 位

井関農機株式会社

22年3月期連結業績 補足資料

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1. 連結業績

(億円：%)

	21/3期 実績	22/3期 実績	増 金額	減 率	22/3期 予想	予想比 増減
売上高	1,496	1,493	△3	△0.2	1,480	+13
国内	1,265	1,312	47	+3.7	1,300	+12
海外	231	181	△50	△21.7	180	+1
売上総利益	459	474	+15	+3.3	465	+9
粗利率	30.7%	31.7%	+1.0%	-	31.4%	+0.3%
販管費	443	429	△14	△3.2	432	△3
営業利益	16	45	+29	+186.2	33	+12
金融収支	△11	△10	+1	-	△12	+2
他営業外	3	1	△2	-	-	+1
経常利益	8	36	+28	+373.9	21	+15
特別利益	6	1	△5	-	1	-
特別損失	△9	△10	△1	-	△2	△8
税前利益	5	27	+22	+500.6	20	+7
税、税調整額他	△5	△4	+1	-	△9	+5
当期純利益	-	23	+23	-	11	+12

1) 前期比

(1) 売上高:前期比△3億円の減収(△0.2%)

- ・【国内】農政の後押し（緊急機械リース支援事業）などにより、一部需要の底上げがあるものの、景気低迷の影響ならびに、政権交代による農政の動向を見極めるための買い控えなどにより市場全体が軟調に推移し、農業機械が21億円の減収。一方、施設工事が大型乾燥施設を中心に受注・完工が順調に進み71億円の増収などから、国内売上高は総額で47億円増収(+3.7%)の1,312億円。
- ・【海外】中国市場が堅調に推移し16億円増収。その他の地域（北米、欧州、豪州など）で、景気低迷や円高基調の長期化などから64億円減収となり、海外売上高は総額で50億円減収(△21.7%)の181億円。

(2) 営業利益 : 前期比+29 億円の増益 (+186.2%)

経常利益 : 前期比+28 億円の増益 (+373.9%)

当期純利益 : 前期比+23 億円の増益 (-)

- ・営業利益は農機製品の売上減や円高基調の長期化に伴う為替差損などの減益要因を一昨年前に実施した製品小売価格の値上による採算の改善や施設工事売上の増収および販管費の圧縮などにより 29 億円増益の 45 億円。
- ・経常利益、当期純利益は、営業利益の増益に伴い、それぞれ 28 億円増益の 36 億円、23 億円増益の 23 億円。

2) 予想比

(1) 売上高: 予想比+13 億円の増加(+0.9%)

- ・【国内】 予想より農業機械の販売が堅調に推移し 6 億円の増加。施設工事の完工が前寄され 6 億円の増加などから総額で 12 億円の増加
- ・【海外】 ほぼ予想通りに推移し 1 億円の増加。

(2) 営業利益 : 予想比+12 億円の増加 (+ 36.8%)

経常利益 : 予想比+15 億円の増加 (+ 74.2%)

当期純利益 : 予想比+12 億円の増加 (+113.4%)

- ・営業利益は国内売上高の増収、在庫削減等の収益改善策の効果と、物流費などの販管費の圧縮等から増加。
- ・経常利益、当期純利益は、営業利益の増益に伴いそれぞれ増加。

(売上内訳)

(億円)

	21/3 期 実績	22/3 期 実績	増減	22/3 期 予想	予想比 増減
農業機械	661	640	△21	634	+ 6
作業機・部品	295	304	+ 9	304	-
施設工事	40	111	+71	105	+ 6
その他	269	257	△12	257	-
国内 計	1,265	1,312	+47	1,300	+12
北 米	65	40	△25	40	-
欧 州	94	65	△29	63	+ 2
中 国	19	35	+16	34	+ 1
アジア	23	18	△ 5	20	△ 2
豪州他	9	4	△ 5	4	-
製品 計	210	162	△48	161	+ 1
その他	21	19	△ 2	19	-
海外 計	231	181	△50	180	+ 1
合 計	1,496	1,493	△ 3	1,480	+13

2. 平成 23 年 3 月期 通期業績予想

[業績予想の考え方]

国内は、食料自給率向上に向けた農政、特に戸別所得補償制度の実施などにより、購買意欲の高まりが期待されるものの、景気回復には今しばらく時間を要すると思われることから、農機需要を横ばいと予想。当社は創立 85 周年に当たり、特別推進策に伴う新商品の投入効果などから増収を見込む。

海外は、拡大を続ける中国市場に対し、当社ブランドの定着を図るとともに、前期大幅に減少した北米地域への出荷回復を織り込み増収を見込む。

営業利益は、増収による増益を織り込むも、原材料価格の値上がり、円高基調の更なる長期化や販管費の増加などが見込まれることから減益を予想。

平成 23 年 3 月期通期業績予想

[連結]

(億円)

	22/3 期 実績	23/3 期 予想	増 金額	減 率 (%)
売上高	1,493	1,510	+17	+ 1.1
国内	1,312	1,320	+ 8	+ 0.6
海外	181	190	+ 9	+ 5.2
営業利益	45	35	△10	△22.5
経常利益	36	26	△10	△28.9
当期純利益	23	11	△12	△53.1

(ご参考)

[個別]

(億円)

	22/3 期 実績	23/3 期 予想	増 金額	減 率 (%)
売上高	909	910	+ 1	+ 0.1
営業利益	12	7	△ 5	△41.6
経常利益	15	8	△ 7	△47.5
当期純利益	16	5	△11	△68.9

*想定為替レート：対米ドル90円、対ユーロ120円。

以上